

令和8年1月

うそ電話詐欺、SNS型投資・ロマンス詐欺
被害者等アンケート結果

生活安全企画課 特殊詐欺抑止対策係

うそ電話詐欺、SNS型投資・ロマンス詐欺被害者等アンケート結果

○ 調査対象者

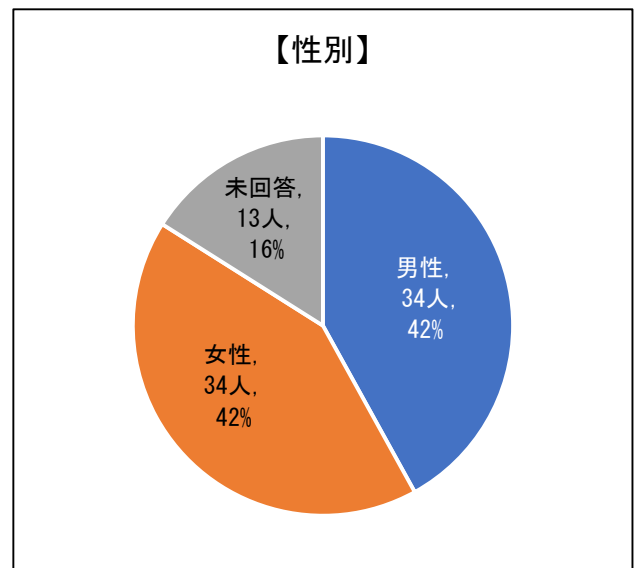
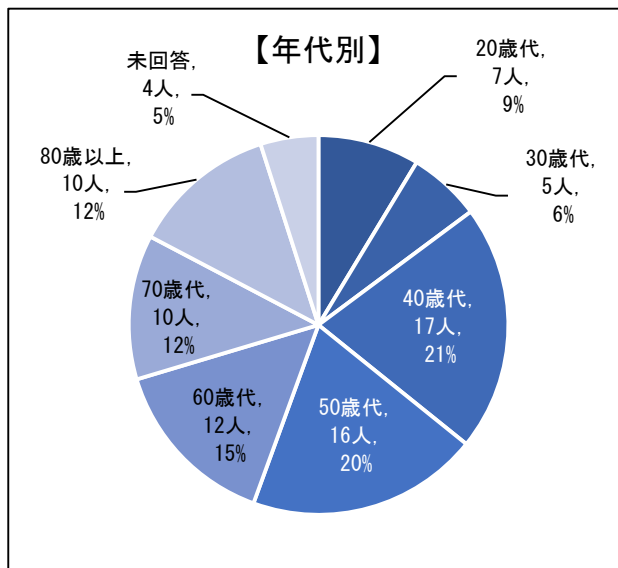
令和7年9月1日から12月31日までの間にうそ電話詐欺、SNS型投資・ロマンス詐欺に関する被害者及び相談者のうち協力が得られた81人

既遂	未遂	未回答
68人	7人	6人

	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	未回答	計
男性	0	3	3	12	4	4	6	2	0	34
女性	0	2	2	4	7	6	3	8	2	34
未回答	0	2	0	1	5	2	1	0	2	13
計	0	7	5	17	16	12	10	10	4	81



	60～64歳	65～69歳	不明	計
男性	1	2	1	4
女性	1	4	1	6
未回答	0	0	2	2
計	2	6	4	12



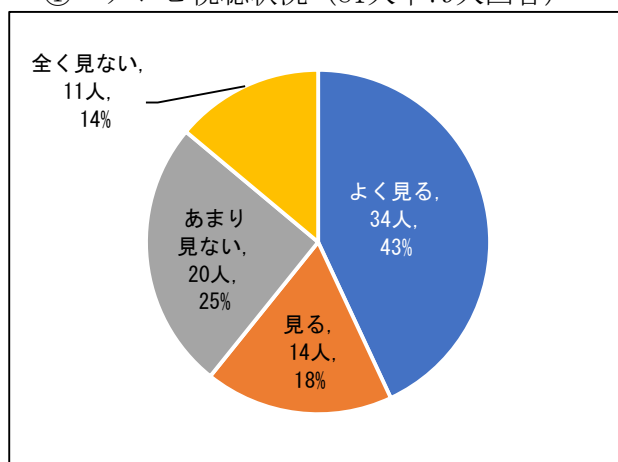
○ 調査の目的

うそ電話詐欺、SNS型投資・ロマンス詐欺の被害者に対し、世間の情勢を知る術やうそ電話詐欺などに関する知識の有無等についての実態を把握・分析し、被害防止対策に資するため

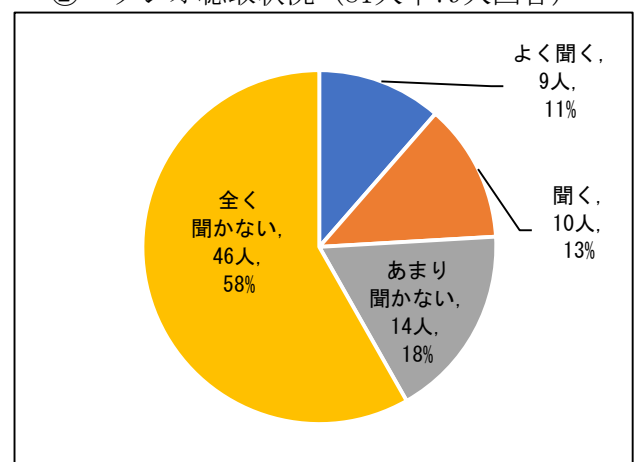
○ 調査結果

《普段の情報入手媒体》

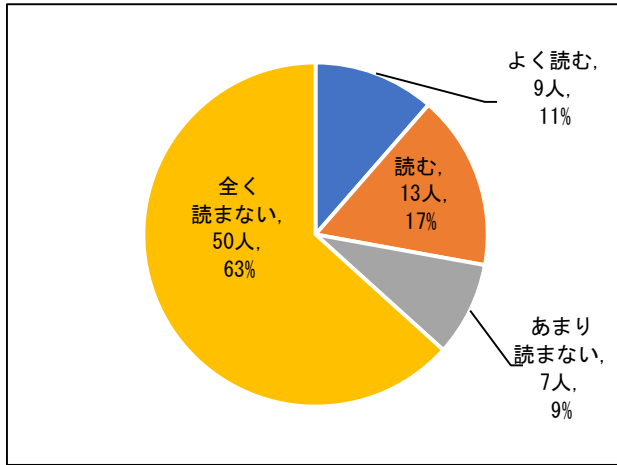
① テレビ視聴状況（81人中79人回答）



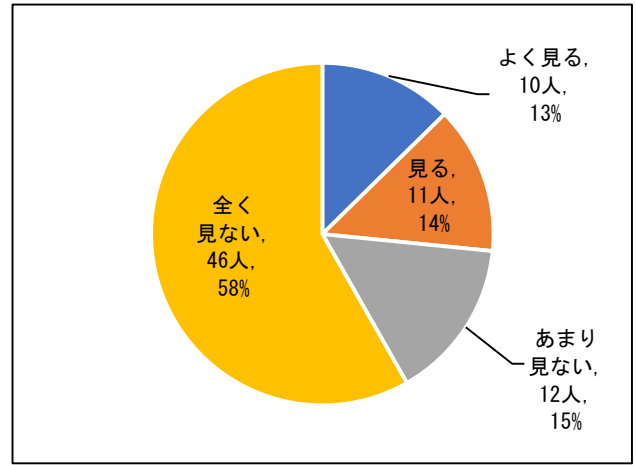
② ラジオ聴取状況（81人中79人回答）



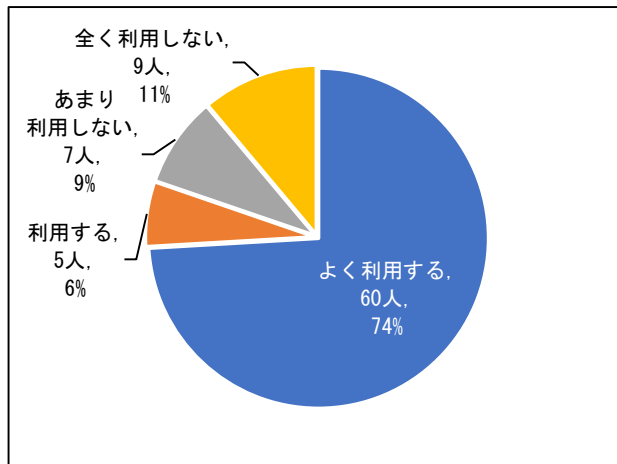
③ 新聞購読状況（81人中79人回答）



④ 回覧板閲覧状況（81人中79人回答）

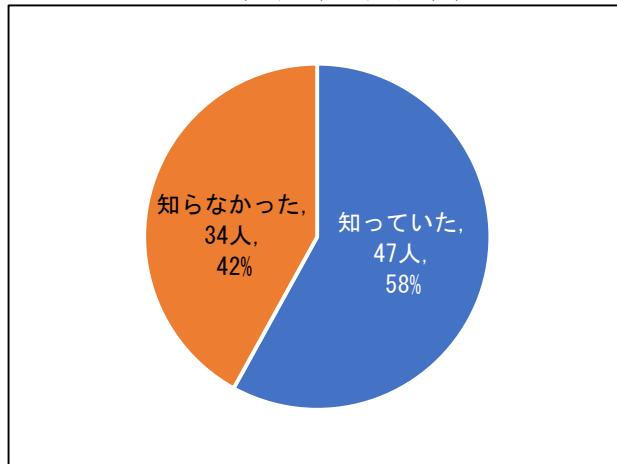


⑤ インターネット利用状況（81人中81人回答）



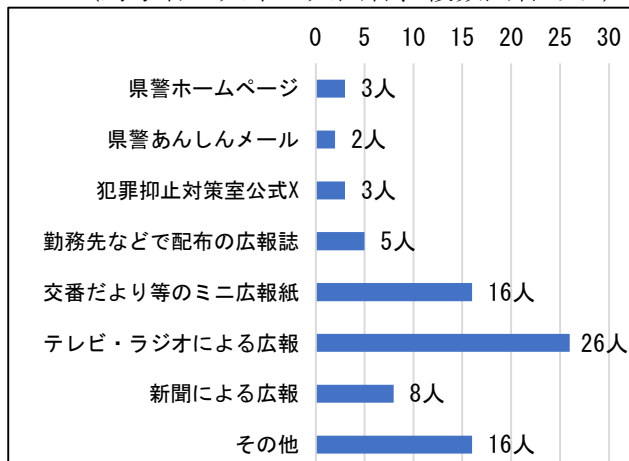
テレビ、インターネットから情報を得ている方が多い。

1 県警が、うそ電話詐欺等の被害防止について、注意喚起や広報活動を実施していることを知っていたか（81人中81人回答）



約6割が県警の広報活動を知っていたと回答

2 【知っていた場合】どのような媒体で見聞きしたか
（対象者47人中47人回答、複数回答あり）

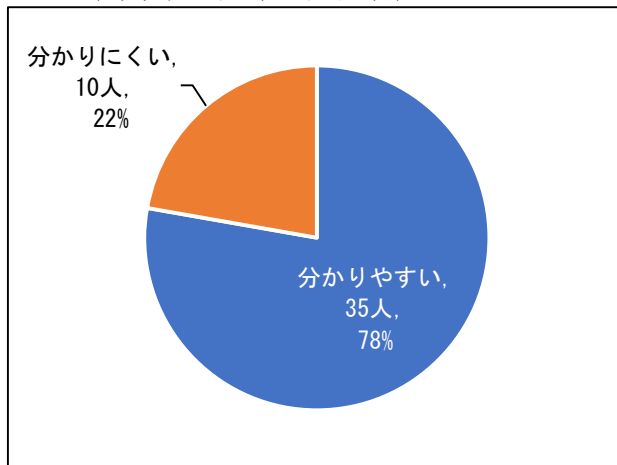


テレビ・ラジオにより注意喚起を見聞きしたとの回答が多い。

（その他の主な内容）

- ・ 警察署の掲示板
- ・ 巡回に来たときに教えてもらった
- ・ パチンコ屋のモニター
- ・ 銀行やATMのポスター
- ・ 町内放送
- ・ 回覧板でのチラシ
- ・ ネットニュース

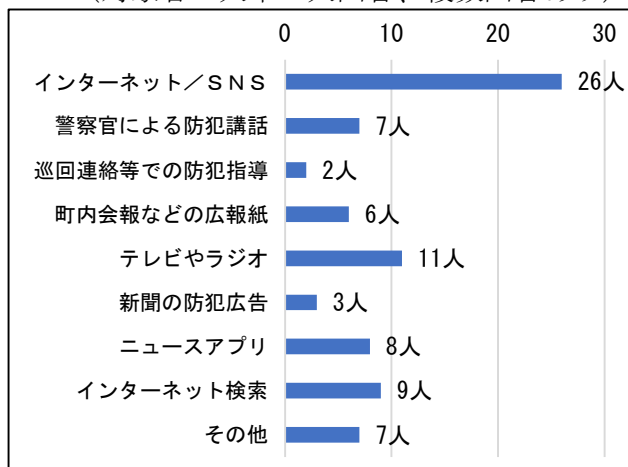
3 【知っていた場合】広報内容は分かりやすいか (対象者47人中45人回答)



(分かりにくいと回答した主な理由)

- ・ 印象に残らなかった
- ・ 広報しているのは知っていたが、内容までは気にしていなかった
- ・ あまり気にとめて見ていなかった
- ・ 手口などをもっと詳しく教えてほしかった
- ・ もう少し詳しい手口の内容が欲しい
- ・ なじみのない言葉が使われていると頭に入ってきてづらい
- ・ 字が小さい、字が多い
- ・ 自分が被害に遭うと思ってないので意識して見ていない

4 【知らなかった場合】どの媒体なら知る機会があったと思うか (対象者34人中34人回答、複数回答あり)



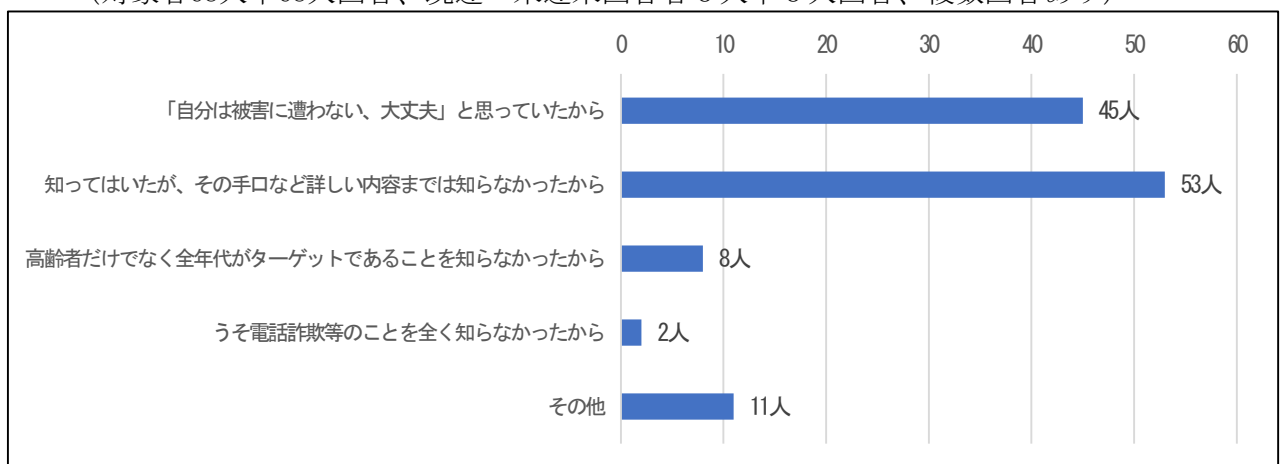
インターネットやSNSの防犯情報なら知る機会があったと思うとの回答が多い。

(その他の主な内容)

- ・ 銀行等にポスターを掲示してほしい
- ・ 広報誌を自治会から配布してほしい
- ・ 40から50代の中年層に特殊詐欺等の認知を広め、親世代等に親族から注意喚起してもらう
- ・ 免許更新の講習時の広報
- ・ おもしろ看板で目を引くようにする

5 【既遂の場合】今回、なぜうそ電話詐欺等の被害に遭ったと思うか

(対象者68人中68人回答、既遂・未遂未回答者6人中6人回答、複数回答あり)

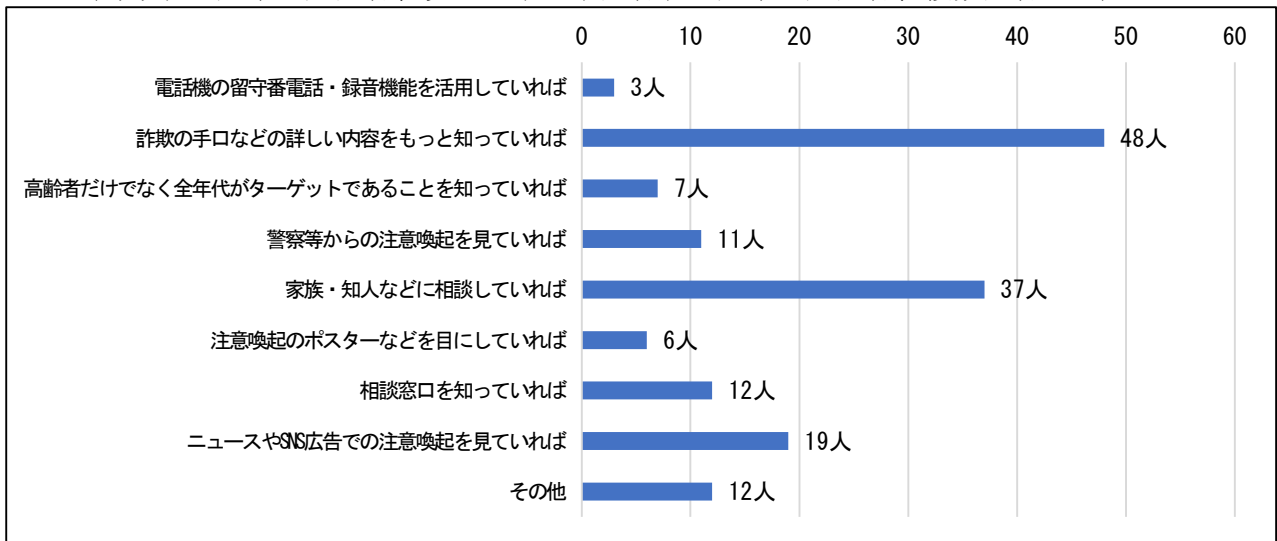


回答者の約7割が「詳しい手口を知らなかった」と回答

(その他の主な内容)

- ・ だまされていると思わなかったから
- ・ 相手が警察と聞き、信用した
- ・ 相手が実在する会社で信じてしまった
- ・ うそだと思わなかった
- ・ 会話をしているうちに信用してしまったから
- ・ 自分の支払いのことを考えていた
- ・ SNS型投資詐欺を知らなかった
- ・ ちょうど投資の勉強をしようと考えていたため、タイミングが良かった
- ・ お金を増やしたいという気持ちから注意不足におちいっていた

6 【既遂の場合】どうすれば被害を防げた（怪しいと判断できた）と思うか
（対象者68人中68人回答、既遂・未遂未回答者6人中6人回答、複数回答あり）

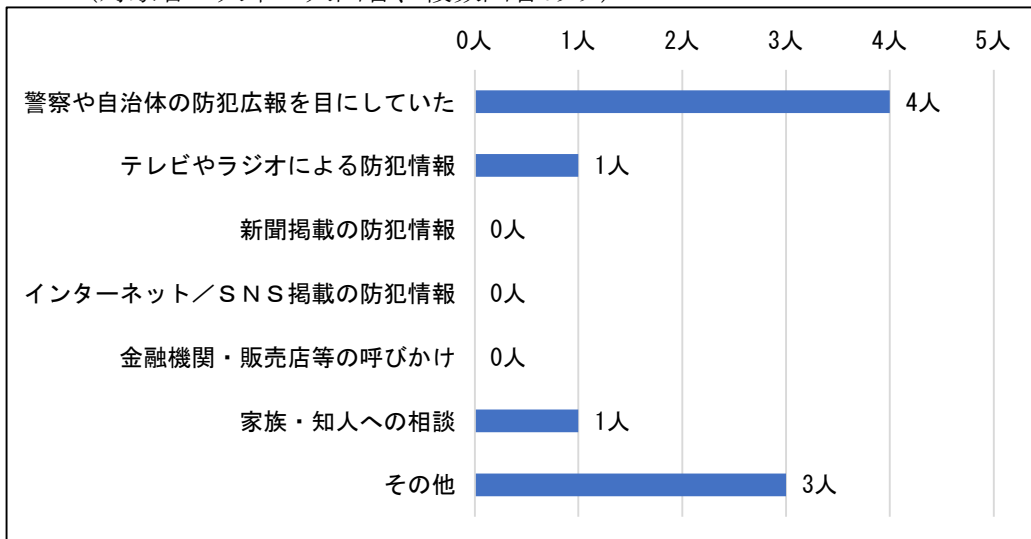


回答者の約7割が「手口などの詳しい内容を知っていれば被害を防げたと思う」と回答。また、回答者の約5割が「家族や知人に相談していれば被害を防げたと思う」と回答

（その他の主な内容）

- ・ 事前に警察に相談していれば良かった ・ 警察署がそばにあれば
- ・ もう少し冷静に考えれば ・ スマートフォンでの検索方法をもっと知っていれば
- ・ 自分でもう少し調べた上で投資をするべきだった ・ LINEの登録を厳格化する
- ・ 難しいと思う、実際に被害に遭わなければいくら注意喚起をしても無理

7 【未遂の場合】なぜお金をだまし取られずに済んだのか
（対象者7人中7人回答、複数回答あり）



「警察や自治体の防犯広報」の内訳は、

【県警ホームページ】1人

【勤務先などで配布された広報誌（うそ電話詐欺被害防止状況等）】1人

【ミニ広報誌（交番・駐在所だより等）】2人

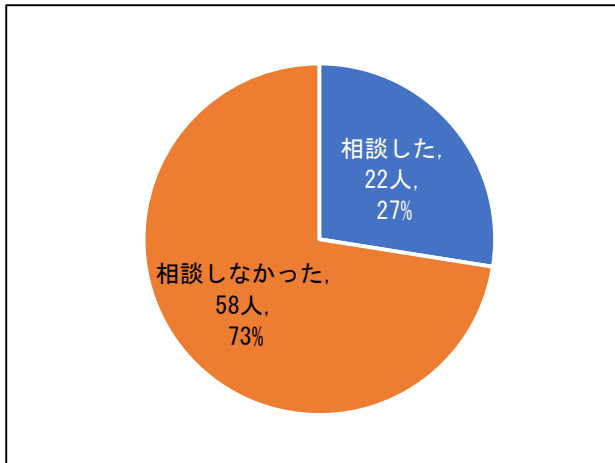
となっている。

（その他の主な内容）

- ・ アプリなどの操作に手間取ってしまったから
- ・ スマホに無知だったから
- ・ 相手の反応がおかしいと思い、電話を切ったから

8 家族などへ相談したか

(81人中80人回答)



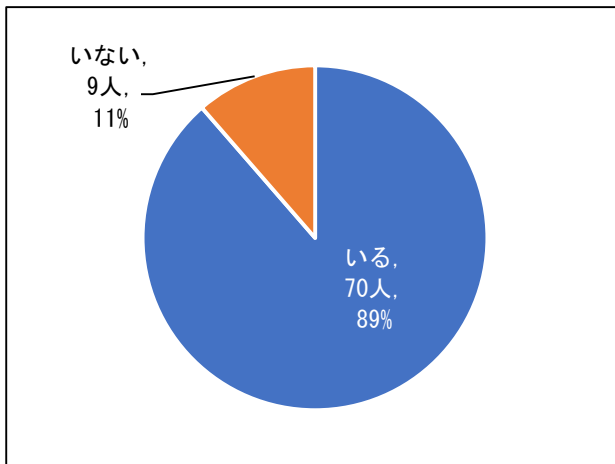
約7割が相談しなかったと回答

※「相談した」については、どの段階で相談したかは不明

困ったときに相談できる人はいるかという問いに約9割が「いる」と回答し、そのうちの約8割が相談相手として「家族」と回答。その他の相談相手として「近隣住民」という回答があった。

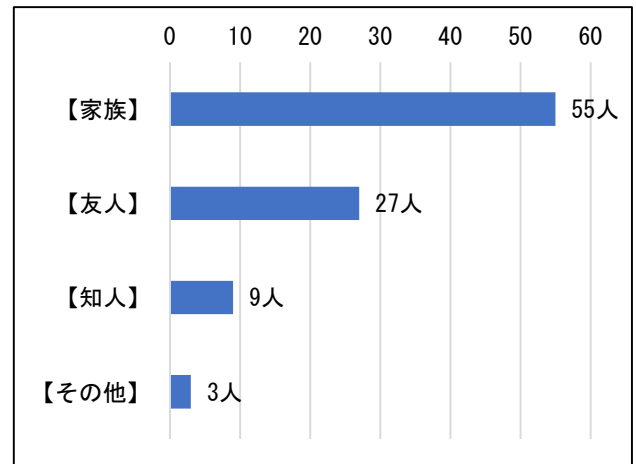
9 困ったときに相談できる人はいるか

(81人中79人回答)



◎ 【いる場合】相談相手は誰か

(対象者70人中68人回答、複数回答あり)

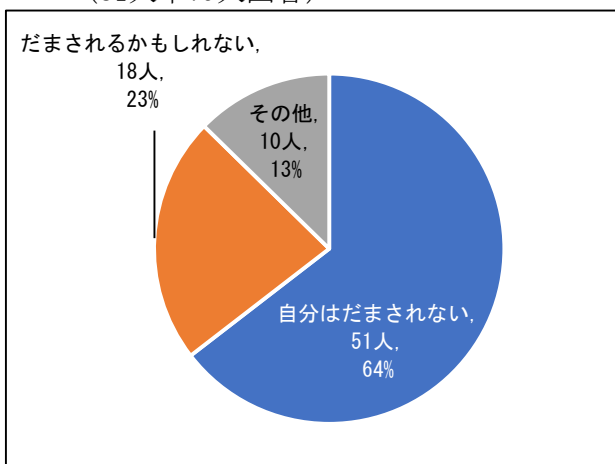


(相談しなかった主な理由)

- ・ 後ろめたい気持ちがあった
- ・ あまり知られなくなかった
- ・ 恥ずかしいと思った
- ・ 怒られると思った
- ・ やりとりの相手が異性だったことから、妻に変な疑いをもたれなくなかった
- ・ 息子、娘に心配や迷惑をかけたくない
- ・ 母が高齢なため心配をかけたくない
- ・ 誰にも言うなと言われていた
- ・ 犯人から家族などに相談したら逮捕すると言われていた
- ・ 相手から家族に相談するなと言われていた
- ・ 言えば共犯者になると言われていた
- ・ まさか詐欺の被害に遭っているとは思わなかった
- ・ 相手を信用していた
- ・ 本当の投資だと思っていた
- ・ 相談しても詐欺と言われると思った
- ・ 一人暮らしのため
- ・ 相談できる人がいない
- ・ 身近な親族がいない

10 うそ電話詐欺等に対してどう考えていたか

(81人中79人回答)



約6割が自分はだまされないと思っていたと回答

(その他の主な内容)

- ・ 詐欺について考えたことがなかった
- ・ まさか警察官をかたった詐欺があるとは思わなかった
- ・ だまされないように心がけていたが、相手を信用してしまった
- ・ 知らない電話やメールには出ないようにしていた
- ・ 手口が巧妙すぎると見破れないかもと考えていた